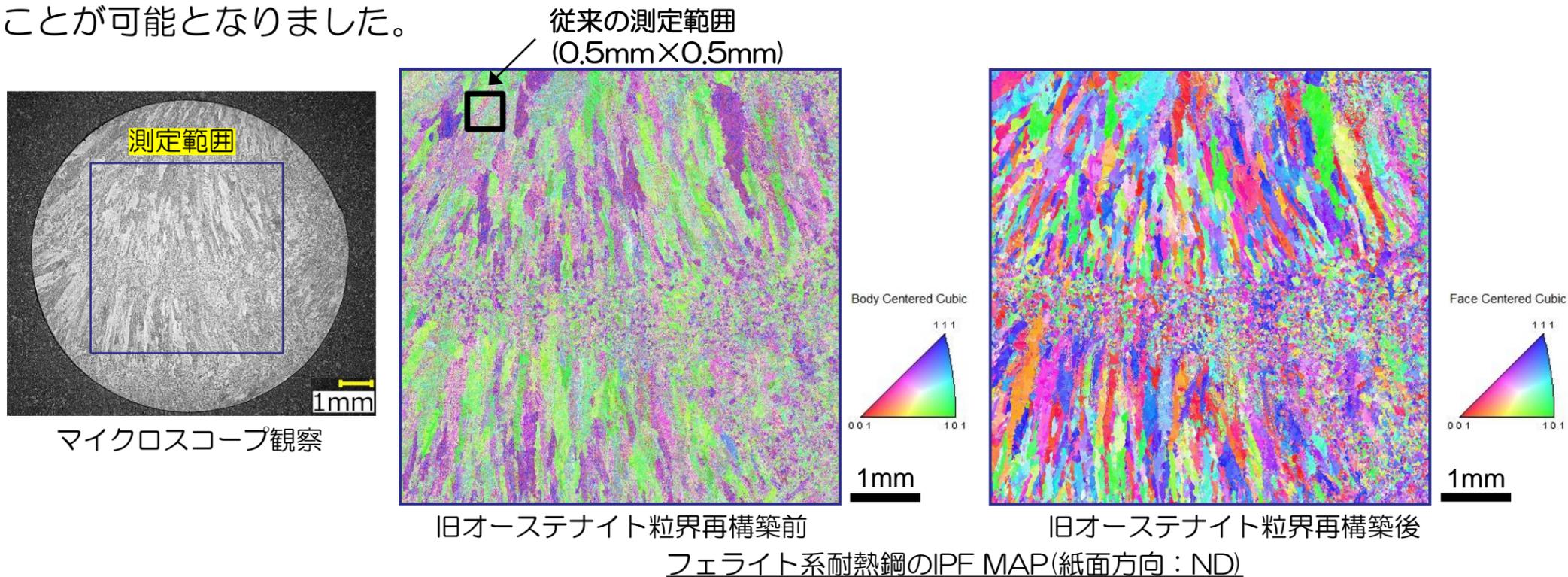


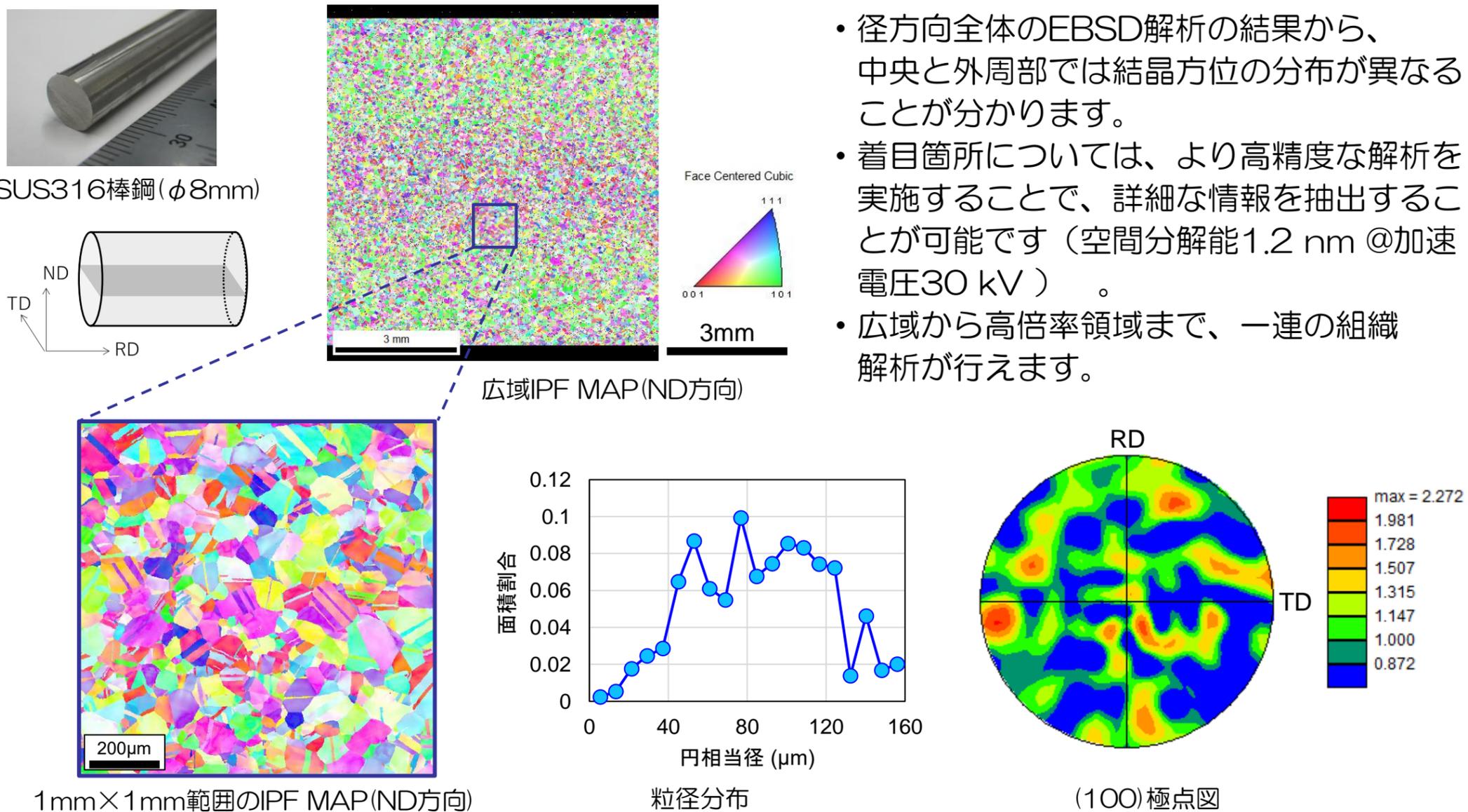
広域のEBSD解析事例

事例1 溶接部のマクロ的な結晶方位解析

溶接部は、場所によって熱履歴が異なるため、様々な金属組織が混在しています。広域EBSD解析を用いることで、ミリメートル単位の視野での結晶方位や結晶粒径などを捉えることが可能となりました。



事例2 SUS316棒鋼の結晶方位解析



- 径方向全体のEBSD解析の結果から、中央と外周部では結晶方位の分布が異なることがわかります。
- 着目箇所については、より高精度な解析を実施することで、詳細な情報を抽出することが可能です(空間分解能1.2 nm @加速電圧30 kV)。
- 広域から高倍率領域まで、一連の組織解析が行えます。

